

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(2) 消費税の会計処理方法

消費税の会計処理方法は税込方式によっている。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法による評価を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
合 計	30,000,000	0	0	30,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等その内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(30,000,000)	(0)	
小計	30,000,000	(30,000,000)	(0)	
合 計	30,000,000	(30,000,000)	(0)	

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,680,806	2,617,093	63,713
合計	2,680,806	2,617,093	63,713

6. 保証債務
該当なし。

7. リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は次のとおりである。
事業費管理費で賃借料処理している。

リース機器	毎年／額	当期末残高	期間／年	リース期間
印刷機	180,144	0	5	H29.4月～R4.3月迄

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、一定金額以下の取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。